

# 世界の情勢(中東) I

科目ナンバリング ARS-105  
【IV】 選択 2単位

伊藤 寛了

## 1. 授業の概要(ねらい)

中東は民族的にも、宗教的にも多様性に満ちた地域です。それがこの地域を学ぶ面白さでもあり、難しさでもあります。この授業では、歴史的経緯も踏まえながら、そのような多様性をもつ中東の各国情勢や地域的な課題、社会・文化的な特徴について学びます。

具体的には、中東史の大まかな流れや中東の三大宗教であるユダヤ教・キリスト教・イスラム教に関する基礎知識を学んだ上で、「トルコ」「イラン」「エジプト」「サウジアラビア」の各国情勢を取り上げます。これらの学習を通じて、中東に関する基本的な知識を身につけ、中東各国の特徴や課題について理解し、中東に関するニュースや新聞記事などを理解できるようになることを目指します。

## 2. 授業の到達目標

- (1) 中東に関する基本的な知識を身につける。
- (2) 中東各国の特徴や課題について理解する。
- (3) 中東に関するニュースや新聞記事などを理解できるようになる。

## 3. 成績評価の方法および基準

- (1) リアクション・ペーパーを含む平常点: 45%
- (2) 期末試験(またはレポート): 55%

## 4. 教科書・参考文献

教科書

特に指定しません

参考文献

酒井啓子(2010) 『<中東>の考え方』(講談社現代新書) 講談社

末近浩太(2020) 『中東政治入門』(ちくま新書) 筑摩書房

小杉泰(1994) 『イスラームとは何か〜その宗教・社会・文化』(講談社現代新書) 講談社

その他の参考文献は授業中に適宜紹介します。

## 5. 準備学修の内容

各回の授業内容について図書館やインターネット、新聞などで調べるよう心がけてください(授業の理解度が違ってきます)。

## 6. その他履修上の注意事項

- ・秋学期(後期)に開講する「世界の情勢(中東)II」も合わせて履修することが望ましい。
- ・中東に関するゲストスピーカーによる講義を予定(調整が難しい場合は映像資料などを使用)。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス・イントロダクション
- 【第2回】 中東史概説①:近代まで
- 【第3回】 中東史概説②:第一次世界大戦
- 【第4回】 中東史概説③:第二次世界大戦
- 【第5回】 中東史概説④:大戦後の中東(1)
- 【第6回】 中東史概説⑤:大戦後の中東(2)
- 【第7回】 中東の宗教①:ユダヤ教・キリスト教
- 【第8回】 中東の宗教②:イスラム教
- 【第9回】 各国情勢:トルコ
- 【第10回】 各国情勢:イラン
- 【第11回】 各国情勢:エジプト
- 【第12回】 各国情勢:サウジアラビア
- 【第13回】 中東情勢①:ゲストスピーカー(または映像資料)
- 【第14回】 中東情勢②:ゲストスピーカー(または映像資料)
- 【第15回】 授業総括